

大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）中間評価結果

大 学 名	○京都大学、関西大学
整理番号	B-5
事 業 名	気候変動下でのレジリエントな社会発展を担う国際インフラ人材育成プログラム

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

（総括評価） S	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
（コメント）	
<p>本プログラムは、京都大学の改革と将来構想に示す教育のグローバル化及び関西大学の国際化戦略：TRIPLEI 構想の一環として実施するもので、ASEAN の相手大学との協力を通じて、社会基盤・環境分野でのインフラ人材として、ASEAN 各国の歴史・社会・経済状況を理解し、地域にふさわしい社会基盤を考え、その形成に汗を流し行動する国際人材の育成を目指している。</p> <p>人材育成については、修士課程の学生を対象とする4週間の双方向短期留学プログラムを中心に、海外企業体験プログラム、中期交流プログラム及び学位取得を見据えた長期交流プログラムを含む系統的な5つの国際連携教育プログラムは魅力的であり、今後の成果が期待できる。派遣・受入ともに当初計画よりも多くの学生が参加するなど、着実に取組を進めているものと評価できる。さらに、平成23年度から27年度に実施された本事業によって得られた成果を調査・分析しており、引き続きプログラムの成果や長期的なフォローアップも期待できる。</p> <p>一方で、目標とする国際的視野を持つ研究者・技術者の養成のためには、学部での海外体験プログラムをはじめ、修士課程での短期留学プログラムから中長期留学プログラム、さらには学位論文研究の協働指導プログラムへとステップアップしていくことが望まれる。実質的な成果を挙げるためにも、京都大学アセアン拠点の活用や他大学への波及効果等について検討を重ね、より優れたプログラムに向けた取組に期待したい。</p> <p>最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と将来の我が国の更なる発展に向け、積極的に事業を展開していくことが期待される。</p>	